

第一十一回一茶ゆかりの里小中学生俳句大会 特選句（応募三六三句）

くわがたをつかまえられるまけないよ 高山小一馬塙伸志郎

つばめさん空をまわってパトロール 高山小二相澤葵

あじさいのにわをあるいて「行つてきます」 岩島小二吉田詩生

夏の海なみがはげしくとまらずに

岩島小三山本歩輝

ふうりんが風ふくたびにささやくよ

柳原小三左治木路也

ひまわりとどちらが高いかせいくらべ

井上小三竹前美羽和

通学路かたつむりたち行進中

豊洲小三市村和可葉

たけのこはかわをむかれてダイエツト 豊洲小三寺田結里

ひまわりが夏がきたなとおきてきた

高山小四越 柚葉

夏ざしきせみの鳴き声遠ざかる

高山小四須田春花

えんがわでふうりんのかげねこじやれる 高山小四緑川実玖

夏木立だれがきれいかファッションショリー 山ノ内東小四市川桜叶

夏草や風にゆられて笑つてる

南条小四山岸果穂

しゃぼん玉春風ふかれ旅に出る

豊洲小四高橋龍一

やみの中ほたるかがやき道しるべ

高山小五藤澤悠

欲張つて二つ一気にさくらんぼ

豊洲小五中山藍花

ふく風にさわぐコスモスみだれ咲き

高山小六奈良優花

えんがわで大の字にねて夕涼み

高山小六藤沢美桜

せぎのはしポツリと光るほたるかな

三水小六永野愛菜

真夏日の熱い試合で決勝打

山ノ内東小 六 加藤 蓮音

静かな夜陽気なかえるが合唱中

高遠中 一 青木謙太郎

陸上部夏の光でとけていく

城北中 一 関 さくら

春雨をあびて走つて苦笑い

常盤中 一 池田 彩乃

友の背とポニーテールの浴衣かな

大鹿中 二 多田 結夏

こいのぼり夢に波立つ空泳ぐ

高遠中 二 伊藤菜奈美

今はなき人に届いてヒガンバナ

高社中 三 島田 昌景

下じきの風に救われ夏を越す

高社中 三 島田 昌景

日焼け肌一皮むいて始業式

高社中 三 田中 美帆

かくれんぼ子らの声聞く紫陽花や

高社中 三 江本 由奈

人ごみを二人で歩く夏祭り

犀陵中 三 牧 春佳

境内に青々と立つ銀杏かな

犀陵中 三 中村 美月

この夏は超えると決めたあの記録

犀陵中 三 関 あおい

炎天下校庭に響く応援歌

小川中 三 清水さやか

大仏がやさしく見守る春の旅

北部中 三 島崎 遥香

蝉時雨シャーペンの音と響き合う

墨坂中 三 穂刈 韶

夏晴れに青の絵の具を買いかかる

常盤中 三 牧 亜友翔

待ち合わせ輝く君の浴衣かな

相森中 三 中村 悠人

サイダーの小さな音に耳澄ます

相森中 三 米沢 胡春

炎天下トマトも私も真つ赤つか

相森中 三 市川 風花